

令和４年度 福島区地域ケア推進会議で 検討された地域課題について

介護保険制度では、地域包括支援センターが開催する「地域ケア会議」で個別支援の内容検討を積み重ね、その中から見えてきた地域課題を区（または市）の「地域ケア推進会議」において検討するしくみとなっている。

令和４年度の福島区地域ケア推進会議では、個別ケース検討による課題などとともに、上福島地域でのグループワークによる抽出課題についても報告され、その中から以下の２項目を地域課題とした。

● 課題 1

複合的な問題を抱える高齢者世帯の増加

「高齢者と障がいを抱える子の世帯」や「ゴミ屋敷」など、複合的な問題を抱える高齢者世帯が増加している。

（解決に向けた取り組み）

- ・高齢者個人への支援ではなく、世帯としての支援が必要なことが多い。実態把握から支援まで、医療・福祉の関係機関や地域との連携強化を図る。

● 課題 2

マンション住まいの高齢者が増えており、特に独居高齢者は孤立化しやすい

オフィスビルや飲食店などが多く賑やかな地域にも、マンションに一人暮らしの高齢者が少なからず住んでおられる。地域のつながりが少なく、孤立しがち。

（解決に向けた取り組み）

- ・そのような高齢者が孤立しないよう、つながりづくり、見守り体制づくりに向けた支援が必要。
- ・マンションへのアプローチを充実させ、管理人や居住者との関係づくりを図るとともに関係機関との連携を強化していく。